

はしがき

教職課程・栄養教諭委員会
委員長 松下 佳代

本稿では、教職課程・栄養教諭委員会に所属する教員が大学院修士課程栄養学研究科で開講している授業報告と、栄養教諭教職課程について令和3年度の資料を中心に掲載している。授業報告は、栄養教諭の専修免許必須科目の一つである「学校食育特論」における大学院生によるベテラン栄養教諭を対象としたインタビュー調査の結果をまとめたものである。

資料1、資料2は、教職課程・栄養教諭委員会年譜ならびに所属委員を掲載した。資料3は、教職課程・栄養教諭委員会の年間活動状況について、教育実習、教職実践演習、そして教員採用試験対策講座の3つの項目で示した。

資料4は、栄養教諭課程の履修者数、栄養教諭就職者数（卒業時）をまとめた。平成20年度から令和3年度までの14年間で479名が履修し、46名が栄養教諭として就職していることがわかる。

資料5-1、資料5-2は、栄養教諭の教育実習状況について学校所在地・校種別人数を掲載した。令和3年度は、1都4県の小学校で教育実習を行った。

資料6は、栄養教諭教育実習指導の授業内容である。COVID-19感染防止対策として一部オンラインで授業が行われた。栄養教諭教育実習報告会では、新しい生活様式の中で行われた教育実習の概要、給食指導や研究授業が報告された。報告会には栄養教諭として活躍している卒業生がオンラインで参加し、活発な意見交換が行われた。

資料7は、教職実践演習（栄養教諭）の授業内容を掲載した。生産から食卓までの食の循環を一連のテーマとし、人間・食物・食環境の関わりについて実践的に学修し、その学修内容をふまえて授業計画づくりを行った。後半は授業分析法を学び、授業内容の改善につながる方法論を修得した。

資料8は、教員採用試験対策講座について示した。前半は集団指導、後半は都道府県の特徴を踏まえた論文対策や面接指導などの個別指導から構成されている。また、令和元年から特別支援学校での体験学習をこの授業の一環として位置付け、実施している。2日間の体験学習では、児童生徒の可能性を伸ばし、社会的な自立につながる教育が実施されていることや、児童生徒の個性、能力を理解することの重要性や専門知識の必要性を学ぶ機会としている。当初、2月に予定した実習が感染症予防対策の観点から中止となり、6月に延期となったが教育実習と日程が重複し、本年度の実習は見送りとなった。

資料9は、都道府県別に公立学校教員採用試験受験状況についてである。受験者数は本学大学院修士課1名と学部の学生を合わせて7名（学部生の教員採用試験対策講座履修者に対する受験率100%）、複数の自治体を受験するため受験者数の延べ人数は8名、そのうち一次合格者は6名（合格率75%）、二次合格者は4名（合格率67%）であった。内訳は、埼玉県3名、さいたま市1名であった。

資料10は、公務員試験受験状況を示した。受験者は6名（延べ12名）、その内訳は東京都I類3名、東京都II類3名、三鷹市2名、国分寺市1名、あきる野市1名、横浜市1

名、川崎市1名であった。その内4名が一次試験に合格し、横浜市とあきる野市の二次試験にそれぞれ1名ずつ、計2名が合格した。

資料11は、スチューデント・インターンシップの参加状況で、COVID-19の感染拡大防止対策を行い9名の学生が参加した。

授業報告

大学院修士課程における高度な専門性を有した栄養教諭の育成一科目「学校食育論特論」におけるベテランの栄養教諭を対象としたインタビュー調査・・・井元りえ、石田裕美

教職課程・栄養教諭委員会 資料

教職課程・栄養教諭委員会年譜、所属委員及び年間活動状況

資料1 教職課程・栄養教諭委員会年譜

資料2 栄養教諭委員会委員

資料3 教職課程・栄養教諭委員会の年間活動状況

栄養教諭教職課程履修者数及び栄養教諭就職状況

資料4 栄養教諭課程履修者数及び栄養教諭就職状況

教育実習（栄養教諭）履修状況

資料5-1 教育実習（栄養教諭）状況 学校所在地・校種別人数
－関東・信越地区－

資料5-2 教育実習（栄養教諭）状況 学校所在地・校種別人数
－北海道・東北・東海・北陸・関西・中国・九州地区－

令和2年度開講授業内容

資料6 令和3年度 栄養教育実習指導

資料7 令和3年度 教職実践演習（栄養教諭）

資料8 令和3年度 教員採用試験対策講座

公立学校教員採用試験受験状況及び公務員試験受験状況

資料9 公立学校教員採用試験受験状況

資料10 令和4年度採用 栄養教諭履修者の公務員試験受験状況

インターンシップ等実施状況

資料11 坂戸市スチューデント・インターンシップ参加状況